

Rosario Quarterly Information



広報 ロザリオ

第131号

社会福祉法人
ロザリオの聖母会
千葉県旭市野中4017
Tel (0479) 60-0600
ホームページアドレス
<http://www.rosario.jp>
Eメールアドレス
honbu@rosario.jp



目次

巻頭写真「平成25年度 ふたば保育園修了式」	1	聖母療育園 大規模修繕工事	10
平成26年度ロザリオの聖母会事業概要	2	みんなの家 審査員特別賞受賞	10
海上寮療養所 組織改編	4	ロザリオの聖母会 次世代育成支援行動計画	11
第22回ロザリオ合同研修発表会	6	銚子商業高校吹奏楽部 スプリングコンサート	11
研修について	7	寄付者御芳名	12
計画相談支援・障害児相談支援について	8	フォトギャラリー	12
奨学金及び修学資金貸与規定	8	新任者・新入職員紹介	14
ご寄付に感謝	9	行事予定・職員募集のお知らせ	16
NHK歳末たすけあい	9		

重い現実を前に ―26年度事業計画概要―

専務 野口厚司

内閣の下に設置された「社会制度改革国民会議」は2013（平成25）年8月6日付で「社会制度改革国民会議報告書」確かな社会保障を将来世代に伝えるための道筋」をとりまとめました。

本報告書が示す方向性としては「1970年代モデルから21世紀（2025年）日本モデルへ」「すべての世代を対象とし、すべての世代が相互に支え合う仕組み」などがあげられ、ついで少子化対策分野、医療・介護分野、年金分野のそれぞれに改革の概要を示しました。

この、医療・介護分野の改革の中に、医療法人制度・社会福祉法人制度の見直しが謳われ、具体的には「医療法人等が再編・統合できるように見直すこと、法人間の合併や権利の移転等を速やかに行うこと」が提言され、特に社会福祉法人に対しては、「経営の合理化、近代化が必要であり、大規模化や複数法人の連携を推進していく必

要がある。また、非課税扱いとさ

れているにふさわしい、国家や地域への貢献が求められており、低所得者の住まいや生活支援などに積極的に取り組んでいくことが求められている」と指摘しています。

全体を貫く考え方は公助部分の抑制で、それをサービスの効率化・重点化や保険制度など自助・共助

で補うということのようです。一説によると、厚生労働省は介護保険と障害福祉サービスの一体化をまだ視野に入れており、また、地域包括ケアシステム確立のための医療・介護サービスの一体改革や診療報酬・介護報酬の体系的見直しなどの情報から推測すると、将来的には医療・介護・障害福祉サービスの「地域完結型」に包括化する可能性もあると思われれます。

また、この報告を受けて厚生労働省は2013（平成25）年9月27日に「社会福祉法人の在り方等に関する検討会」を立ち上げ、社会福祉法人への風当たりが強まる

中、「地域貢献の在り方や財務諸表の透明化」などについて月一回のペースで議論を行って、2014（平成26）年5月に報告書をとりとめることになっています。

全国社会福祉法人経営者協議会幹部はこれらの動向に強い危機感を抱き、本協議会ホームページに全国の社会福祉法人が運営・財務状況を自主的に情報公開するよう呼びかけるなどの対応を行いました。

◆ 加えて2013（平成25）年12月5日、安倍政権が数々の法案を強行採決する中で上記国民会議報告書を踏まえて作ったとされる「社会保障改革のプログラム法」を成立させ、改革項目と実施時期を法律で示すに至ったことは、実行を急ぐ政府の姿勢がますます顕著になったと言えます。

◆ 以上のように社会保障全体が厳しい環境にさらされる下で4月から施行される制度は、

障害者総合支援法積み残し部分の

○ 重度訪問介護の対象拡大

○ 共同生活介護と共同生活援助の一元化

○ 障害程度区分から障害支援区分への変更

○ 計画相談支援の推進

などであり、また、2013（平成25）年6月に成立した精神保健福祉法の改正に伴って、

○ 精神障害者の地域生活への移行を促進

○ 保護者制度の廃止、医療保護入院における入院手続の見直しなどが施行されます。

◆ たとえ社会保障制度が政治からどのような眼差しを受けようとも、ロザリオの聖母会は社会から与えられ、求められ、期待される役割を粛々と果たしていくことをもって社会福祉法人の公益性を裏証していきたいと考えますが、いずれにしても、病院・施設から在宅・地域へとという流れがますます加速していくことは確かなので、その潮流を踏まえた上で具体的なビジョンを持つことが新年度の課題といえます。

また、もう一つの課題は障害福祉サービス利用者のサービス等利用計画作成問題です。

制度では26年度中に障害福祉サービスを利用する全ての利用者（児

童も含む)が自己のサービス等利用計画を作成して27年度以降のサービス利用、あるいは契約更新に備えることになっていますが、行政の動きや計画相談を担当する相談支援事業所の体制が整わないこともあって、本会では370人超(内部調査による)と見込まれる入所・通所利用者に対する計画作成に一年間でどう対応するかという問題に直面しています。

この点に関しては、基本的に友の家が施設・事業所の協力を得ながら対応するという形で推進する計画を立てていますが、実践する過程で生じる様々な課題に対処するためには、関係施設・事業所間の垣根を取り払った支援・協力体制が必要となります。

◆ 25年末に発生した袖ヶ浦福祉センター養育園での利用者死亡事件は衝撃的な出来事でした。本会はこのことを重く受け止め、他法人で起きたことは当法人でも起こりうるという視点と危機感をもって虐待防止に向けた取り組みを積み重ねたいと思います。奇しくも25年度に「福祉サービス共通基準等2013年版」を策定し、特に虐

待関連項目を見直し、追加したところなので職員行動規範と合わせて職員個々への周知徹底を図ります。

◆ 加えて、改正障害者基本法のポイントの一つと言われる障害者の「意思決定支援」や2016(平成28)年4月施行の差別解消法(合理的配慮ほか)などへの理解を深めることも重要と思われます。知的障害等がある方にとっての「合理的配慮」と言われる意思決定支援とは何か、どのように支援すべきか等について真剣に学び、取り組むような個人及び集団は、すぐれて虐待とは遠い世界にあると信じるからです。

◆ 同時に、内部的な取り組みだけでは限界があるので、第三者評価受審、ボランティア、保護者会、実習生、見学者その他第三者の視線を絶えず施設・事業所内に入れることにも努力していきます。

◆ ついで、施設・事業所に目をむけると、入所系では、海上療養所が先法律改正や医療改革の流れに対応するため病院組織再編を行って徐々に地域に軸足を移す方向に踏

み出します。他の福祉系施設では創立20年以上を経たところで施設・設備の老朽化が進み、大規模改修工事や設備整備の資金調達を含めた計画的遂行が課題としてあがっています。

◆ 通所系は、ふたば保育園の新築計画が東日本大震災被災後3年越しでようやく実現の見込みとなりました。竣工後は、旭市に唯一の児童発達支援センター(通所・相談・訪問機能を併せ持つ事業所)として再出発する予定です。また昨年高萩福祉センターにオープンした聖ヨセフつどいの家では利用者数伸び悩みを解消するため、事業見直しによる指定変更を行って経営健全化に向け努力します。

◆ 居住系では、グループホーム一元化施行により経営内容がどう変化するか見極めつつ、新規グループホームの開設などに取り組みます。

◆ 相談系では、先に述べたサービス等利用計画作成を友の家と香取障害者支援センターが担当して法人内利用者及び海匝・香取地域か

らのニーズに定める予定です。また、海匝ネットワークは地元旭市から新規事業を受託するとともに、仮設住宅利用者に対する生活相談支援を千葉県、旭市からの委託(最終年度)により実施して、5月に閉鎖される仮設住宅居住者のアフターケアに努めます。

◆ 運営管理面に目を向けると新年度の大きな動きは新会計基準への移行です。

◆ 25年度一年間を費やして研修やソフト更新に努め、26年度予算から移行する運びになりましたが、同一施設・事業所内でも提供するサービス事業ごとに会計を分割する、施設・事業所間の相互(内部)取引を相殺するなど旧会計以上に煩雑な経理事務に全体が円滑に移行できるよう努力します。

◆ また、経理事務に加えて請求事務や契約事務など年々増大化する事務量や、職員数約600人を数える大規模法人としての管理的側面に目を向けると、膨大な運営管理業務を効率的に処理するとともに内部牽制をさらに充実するシステムを検討する時期にあるように思います。制度そのものに効率化・重

点化が求められる時代は、同時にそれを実践する組織に対しても変革を求めることは先に示した国の動きからも明らかなので、ロザリオの聖母会としても避けて通れない課題として受け止め、検討していきたいと考えます。

最後に、虐待問題にもう一度触れます。

事件の一連の推移を見聞きして感じることは、ひとたび不祥事が発生すると法人全体が批判的となり、強度行動障害といわれる処遇困難な方々を受け入れてきた実績など法人の歴史そのものも否定されかねない事態を招くということでした。この、教訓と言うにはあまりにも重い現実を前にして一つ確かなことは、繰り返し暴行に及んだといわれる職員たちは、亡くなった少年や虐待を受けた被害者たちの無念や痛み、苦しみ、恐怖といった精神的・身体的苦痛に対する誠実な想像力を欠いていたということだと思えます。心ならずも強度行動障害と言われる重い障害を背負った人と人生に対する想像力や共感性を失っていたと言わざるを得ません。それが個人的

資質によるのかストレスか、組織風土に由来するのか、あるいは諸条件が複雑に交錯した結果なのか軽々に答えを導き出すのは難しいですが、福祉関係者にとって、このような悲劇を二度と繰り返さないために正面から向き合わなければならぬ現実であることは明白です。

虐待防止や権利擁護といった人間の尊厳に関わる課題に対処する私たちにあって、教育、研修、支援技術向上、第三者の存在、風通しのよい組織作りなどの具体的な手段を繰り返し、積み重ねることは当然として、もっとも重要なのは、管理者も職員も常に想像力を働かせて他者の痛みを我が身に置き換えることにあるのではないのでしょうか。他者の辛さを自分のことのように受け止める感性を培うことにあると思えます。

「常に自らに対する問いかけを怠らず、研鑽と人間的成長に努める」という本会倫理綱領の一節を心に刻みつつ実践する一年でありたいと切に願って結びとします。

平成26年度海上療養所事業計画

およびそれに伴う組織改編について

海上療養所 院長 山田治

平成26年4月の時点で、精神科医療を取り巻く環境が大きく変化します。一つは平成25年に成立した改定精神保健福祉法が施行されること、そして、2年に一度の診療報酬改定が行われることです。

詳細は省きますが、上記2つの改定が志向するものは、新たに発症した患者さんについては早期に集中して治療を行い回復し次第もとの生活の場に戻っていただくこと、一方で長期にわたり入院している患者さんにはできる限り地域での生活を再開できるように病院外での支援を拡大していくこと、の2点に集約できます。

本年度の事業計画は、こうした状況の中でいかに病院運営の操舵をなすかという観点から構成しました。計画の遂行にあたり、必要となる組織の改編を同時に実施します。

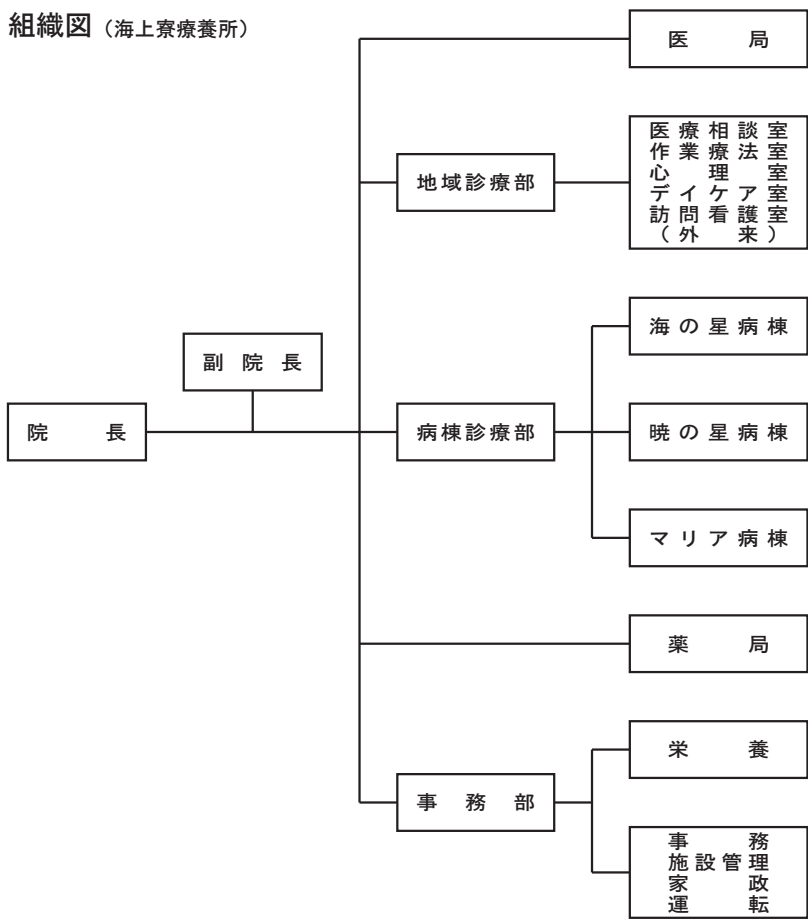
主体を、病棟での診療からそれ以外の場での診療行為に移す、ということです。

ここで「それ以外の場」というのは、文字通り病棟以外の場であり、院内であれば、外来・心理面接室・デイケアや作業療法の実施場所など、外来の受付も含まれます。院外であれば、在宅や施設などです。そうした場面・状況では、医師の診察よりも、各職種による診療行為のほうが大きな意味を持つことがままあります。

こうした事業計画の意向を明示するため、まずはカタチを替えようと思えます。型や形は、文武を問わず日本文化の基礎をなすもの。お稽古ごとでも武道でも、入門当初は理由も分からぬままに徹底されるのが所作や振る舞いであるとしたものでしょう。

組織図上、全体は2つの診療部

組織図 (海上療養所)



門と事務部門とに大きく3分割されます。そして、診療部門は地域診療部と病棟診療部とに二分されます。

その中で地域診療部の立ち上げが今回の主眼であり、「それ以外の場」での診療活動を担う実働部隊です。病棟以外の場での診療部門を一括して配置したため、当座は各現行部署の混成部隊のままです。

当面の呼称で言えば、地域診療部には、医療相談室・訪問看護室・デイケア室・作業療法室・心理室それに外来が属します。業務内容は、当面は従来からの活動を継続するものであり、特別に目新しいものはありません。「それ以外の場」での診療活動を拡大していく中で、従来の診療活動の再点検と仕切り直しを随時行っていきます。その

際、各部署の担当者に求められるものは、外部から訪れる利用者の方々の真意は何なのかを、一緒に考えて考えられる能力です。

病棟診療部は、実は病院全体の改変を考えると時には主体となる部門です。しかし今回は地域診療部の運営開始が主眼であるため、病棟診療部の実質改変については、その後の検討課題とせざるを得ません。当面は、従来からの精神科療養病棟3病棟体制が継続となります。

事務部では、表面上これといった変更は認められないものの、やはり発想の転換は求められます。日常業務としての事務作業は、

下流工程での後処理作業であるが故に、どうしても受け身とならざるを得ません。こなし仕事となりやすく、面白味にかけるものとなりがちです。

それでも一連の作業過程を見直すと、医療事務の中にも新たな発見があるもの。例えば、今回の診療報酬の改定に合わせて、その適応を事務の立場から診療の現場に提案をするのも面白いでしょう。自分自身が工夫したことが、数字に表れたり、他者から感謝された

り褒められたりすれば、誰しもが気持ち良く仕事に取り組みるとしたものです。

なお、栄養部門は本来は薬局と同等に考えたいと思います。官庁の統轄部署は同じですし、医食同源でもあるので。毎日の給食以外にも主たる業務内容に加えたものがいろいろとあります。そのためには、当然ながら人が必要です。

そもそも組織改編の発想の原点は、地域の人々が、当院をどのように見ているのか、そして当院に何を望んでいるのかを改めて考え直してみることであり、この地に居住する利用者の視点から当院の医療行為を見直すことでした。

また、医療行為の提供以前の問題として、利用者の思惑と医療行為提供者の思い入れとの間に、それぞれの抱く考えの間に、すでにずれ違いが生じてはいないのだろうか、という疑問が従来からありました。

わかりやすく言えば、患者さんやその家族の方々は常に外来での診察を受け診断してもらおうことを望んでいるのだろうかということとです。ともかく気懸かりで心配

で不安で、かといって何処へ行って相談したらよいのかも分からないので話だけでも聴いて欲しい、といった場合も多々あるうかと推測します。

そうした未だ病気とはいえないような（未病とよぶ人もいます）、悩みの種の解消をはかる場として病院のサービスを利用していただくには、我々は何を用意すればよいのかということです。

病院が地域においてどのような認知されているのか、なんであれ精神・心理面で支障が生じた際には海上寮に行ってみようと思われているのか、永遠の最重要課題です。安直な広報活動でどうとなるものではなく、実直に地道に診療活動の成果を積み重ねるしかありません。

要点は、何はともあれ病院まで足を運んでいただくこと、そして、利用者の真意をつかむこと、この2点に尽きます。

今後の方針も含めて、本年4月以降の組織改編の概略を述べました。全てはこれまでの諸活動の先にあるものであり、何も新奇なもの始める訳ではありません。ただ少し視点を変えて俯瞰してみた

ら、当院の医療活動は地域の人々にはどのような映っているのだろうかとの観点から、病院での医療サービス活動を再検討する所存で

す。

手慣れた手順・方法は、なかなか捨てがたいものですが、どのような道具でも、日々の手入れを怠

第22回ロザリオ合同研修発表会

合同研修会実行委員 ワークセンター 主任 松島由智

3月5日、第22回ロザリオ合同研修発表会が開催されました。

今年度も昨年以上に研究レベルが上がっているだけでなく、日々の支援に基づいたテーマの研究が多く、より身近な所まで支援を考えていることが印象的でした。

今年度は、例年の通りの海上寮療養所、聖母療育園、聖マリア園、聖家族園、佐原聖家族園、ワークセンターの6施設での発表となりましたが、10分間という限られた時間の中で、事業所ごとの特徴や熱心な取り組み、成果や今後の課題を例年以上の充実した発表となりました。

数々の素晴らしい発表の中から、佐原聖家族園逸見諭さんによる、『意思決定支援』を考える」が理事長奨励賞でした。佐原聖家族園での内職班開設から作業を通して、利

用者の自己決定・自己選択により利用者の作業を肯定的な支援に変化していったということから、あらゆる場面で意思を尊重していうという素晴らしい内容でした。

敢闘賞は、聖家族園福田佳子さんによる「聖家族園における利用者の権利擁護に関する取り組みについて」でした。平成24年10月1日より施行された障害者虐待防止法を受けて、実際に行えることから利用者への対応を一般社会と同じにしていき、利用者への権利侵害を考えていくことでより良い施設にして行こうという内容でした。

今年度は、どの施設も身近な支援、ケースからより良い支援、施設に変えていこうという内容が多く、より利用者目線での支援が充実してきたのだと実感できました。発表された6名の方々、研究に

ればすぐに錆び付いてしまいます。そこで組織の屋台骨の手入れをしようかと考えています。

携わった多くの職員の皆様、そして研修委員をはじめ、開催にあたりご協力いただいた皆様に心より感謝申し上げます。また、次回の発表会がより一層充実したものであるよう、ご協力下さいますようお願い致します。



管理職研修より研修について

ロザリオの聖母会評議員・元聖マリア園園長 加瀬政衛

職員研修の必要性は、組織や職場にとつての必要性、職員一人ひとりとつての必要性、利用者や社会にとつての必要性という三つの側面から捉えることができます。

ロザリオの聖母会研修課として以下の三つのことを大切に考えています。——『福祉を利用する者の幸せはサービスの向上にあり、サービスの向上は教育と研修にある』、『ロザリオの聖母会が教育、研修を重要視する理由は、入所施設の内容、通所施設の内容、地域生活支援の内容、地域づくりの内容を高めたからであり、教育・研修は福祉充実の源泉であり魂である』、『われわれの行う福祉活動の内容は、それに携わる人間によってその質が決定してしまう。繰り返すが、私どもが行う福祉は、われわれ職員の質によってその内容が決まる』ということ。如何に教育と研修が、「サービスの質の向上、福祉充実、職員の質」と深く結びついているかということ。

次に、1951年以来の社会福祉事業法の改訂が、社会福祉基礎構造改革（社会福祉法）です。この社会福祉法は2000年6月7日に施行されましたが、目的は従来の社会福祉の諸制度に共通する基礎的な仕組みを再構築することでありました。制度改正の概要として、以下の四つの柱をあげました。——『利用者の立場にたった社会福祉制度の構築』、『サービスの質の向上』、『社会福祉事業の充実と活性化』、『地域福祉の推進』です。

なかでも、「サービスの質の向上」を受けてロザリオの聖母会として、2001年4月25日に、「サービスを提供するにあたっての「基本理念」、職員の基本的な心構えとしての「倫理綱領」、利用者の人権擁護のための「職員行動規範」、利用者への質の高いサービスを提供するための「福祉サービス共通基準」を策定しました。今般2013年版が新たに改訂されたことは皆さん周知の通りです。

ここで、皆さんにも一度確認したいことは、「サービスの質の向上、福祉充実、職員の質と深く結びつくのは、教育と研修から得られる」ということです。

ロザリオの聖母会研修課として「研修」への基本的態度として以下の四つをあげます。

① 『毎日の職場が研修の場であること』

福祉の職場は、単調・遅効性・チームワーク・女性性・創造的工夫・変則勤務であること。そして、生きることは↓働くこと↓学ぶこと↓自分の考えを持つこと↓哲学すること。——

「自分で考える力を養うために何をなすべきか」を考えて頂きたい。「考える力は、強い目的意識と広い視野、体験を糧とする不断の努力が養う」ことを。

② 『研修とは自らがするものであること』

管理職は、自発・自治・自覚の三自。管理職は現場・現物・現実の三現を。もっと分かり易

く言うならば、今日一日をどう生きるかであり、今日一日をどう働くかである。大きな誤解と偏見を抱かず、付け加えれば、「もし、失敗から学ぶことができれば、失敗は成功である」という言葉がありますが、管理職の要件は、失敗の原因は自分にあることを。

③ 『研修の一番の教師は利用者であること』

利用者から学んだことは三つあります。——苦しむものにとつては、「自分を理解してくれる人がいること。一人ぼっちでないこと。一緒に歩んでくれる人のいること。——こそが大切であることを。

④ 『知識・技術・(技能)・態度(心)が調和していること』

「福祉サービス共通基準」に、「法人は、時代や制度の変化に即応した研修会を行うなどして組織及び職員の自己変革・啓発を促進する」ことを。

最後になりますが、ロザリオの聖母会研修課に対しての深い御理解をお願い致します。

計画相談支援・障害児相談支援について

地域生活支援センター友の家 所長 白井正和

障害者自立支援法（現・障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律）『障害者総合支援法』等の改正により、障害福祉サービスの申請者に対してサービス等利用計画案・障害児支援利用計画案の作成が必須となり、平成24年度から平成26年度までの3年間で全ての利用者を対象として体制を整えることになっていきます。サービス等利用計画案等が作成されないサービスが支給決定がされずにサービスが利用できなくなってしまします。残り1年になります。府県・市区町村によって格差があり、全体としては低い水準にとどまっています。

ロザリオの聖母会でもサービスを利用していただく方が多くいらっしゃいます。この方々についてもサービス等利用計画案の作成が必要となり、指定相談支援事業所の相談支援専門員（県の研修修了者）が関わることとなります。指定相談支援事業所は利用者が選択できることになっていますが、現状では

十分な事業所数や相談支援専門員が地域に確保できていません。そのことからロザリオの聖母会として、当事業所に相談支援を対応するために職員を増員して平成26年度から対応していくこととなりました。

相談支援専門員の役割として、①計画作成、②サービス調整、③計画の進捗状況のチェック、④中立的・第三者的に権利擁護の視点での関わり、⑤生活全般における相談、⑥継続的な支援、等があります。また市町村の支給決定の裏付けやサービスを幅広く組み合わせることで選択肢の拡大となる機能もあります。

相談支援は「何をやってくれるのか」見えにくい部分もあるかもしれません。しかし、相談支援事業所が介在する意義は大きいと思います。

安心して任せられる事業所を選んでいただき、生活を豊かにするための手段として活用していただきたいと思います。ご不明な点があればお問い合わせください。

看護学生奨学金及び修学資金貸与規程

聖母療育園 係長 林勝己

規程の概要

【目的】

看護学校等に在学し、卒業後当法人が経営する施設に勤務することを希望する者に対し、奨学金、修学資金を貸与

【対象者】

社会福祉法人ロザリオの聖母会に1年以上勤務する者

【看護学生奨学金貸与】

- ・ 准看護学校（2年課程）
- ・ 看護専門学校（2年課程）

※卒業後4年間の勤務で返還免除

- ・ 看護師学校養成所
- 通信制（2年課程）

※卒業後2年間の勤務で返還免除

【修学資金貸与】

- ・ 希望者には入学金、授業料等の修学資金を貸与

最近では看護師募集の案内が総合病院から医療・福祉施設に至るまで常に掲示されています。ロザリオの聖母会においても御多分に漏れず看護師確保に奔走している状態です。特に聖母療育園においては利用者の高齢化傾向や在宅重症心身障害児者のたん吸引等の医療の重度化など、看護師のニーズは増すばかりですが十分な看護体制を確保できていないのが実情です。また、最近では働き方も多様化し夜勤ができる看護師確保という点においては大変厳しいものとなっています。

規程の概要は次のとおりです。

「ご寄付に感謝」

【通園センター家族会より】

寄付を頂きました！

聖母通園センター

聖母通園センターでは今年度(平成25年度)家族会の皆様から、普段利用者さんが使用するのに必要な、三角マット、おしぼり用保温機、衣類交換時持ち帰り用に必要なた。なビニール袋を寄付して頂きました。



家族会の皆様にご感謝し、大切に使用させて頂きたいと思っております。本当にありがとうございます。

【パールシヨップともえ】

旭店様より寄付！

聖母療育園

この度、パールシヨップともえ旭店様から400点にも及ぶ大小様々なぬいぐるみを聖母療育園並びに法人内に施設に頂いております。たくさんぬいぐるみを目の前に利用者の表情は笑顔に変わり、居室も華やかになりました。これからも大切に使用させて頂きます。パールシヨップともえ旭店様にはこの場を借りまして厚く御礼申し上げます。



【聖家族園 リフトカー】

聖家族園

聖家族園に待望のリフトカーが納車されました。聖家族園は今年で開設20周年。利用者の平均年齢も大幅に上がりました。体調不良等での車イスを利用した緊急受診も年々、増加傾向にあります。安全と迅速さの両方が利用者に対する負担軽減となります。今までの、車両への移乗時にかかっていた負担がリフトカーにより解消されると思えます。

支援には ひと手間かけても

受診には ひと手間かけない

聖家族園

短歌っぽく表現するとこんな感じですよ。交通安全を心掛けて使用していきます。



NHK歳末たすけあい

【平成25年度】

NHK歳末たすけあい助成】

ナザレの家あさひ 庄司俊介

東日本大震災以降、グループホーム利用者の津波避難の安全性を高める為に、救命胴衣の必要性がありました。NHK歳末たすけあい助成を活用し、整備する事が出来ました。また、車いす利用者の階段昇降時においてターポリン担架を整備することが出来た事で、最小限の人数でスピーディーに避難することが可能になりました。今後は助成で頂いた救命胴衣とター



ポリン担架を活用して防災訓練を行い、有事に備えていきたいと考えております。

皆様からのご寄付をいただきありがとうございます。

【NHK歳末たすけあい寄付】

佐原聖家族園

この度、NHK歳末たすけあい義援金の配分を受け、佐原聖家族園では洗濯機、耕運機を購入させて頂きました。洗濯機は食品加工班、耕運機は農耕園芸班にて使用します。作業がより充実する物品を購入することができました。この場を借りて厚く御礼申し上げます。



大規模修繕工事

聖母療育園

当園は開園から25年が過ぎ建物や設備に大規模修繕の時期を迎えていることから、平成25年度社会福祉施設等耐震化等整備費補助金の交付を受け、11月から3月までの工期で屋根材交換、外壁のクラック補修及び塗装工事を行いました。



時の経過とともに色あせた屋根や外壁も開園当初の彩りを取り戻し、装いを新たに職員も原点に立ち返りこれまで以上に地域に必要な施設を目指していきたいと思っております。



審査員特別賞受賞！

ステイックチーズケーキ

みんなの家 喫茶ひまわり担当 石田春江

日頃から、喫茶ひまわりをご利用いただき誠にありがとうございます。

3月8日幕張メッセにて行われた『第5回はーとふるメッセ・オブ・ザ・イヤー2013』に参加し、

製品部門へ「ステイックチーズケーキ」をエントリーしました。たくさんさんのエントリーがされた中で、

なんと「審査員特別賞」を受賞することができました。

このような賞を戴いたことに対し、

一緒に制作した利用者、職員一同大変感激しております。

早速、店内に

ただいた賞状を

飾ってありますので、ご来店の際はぜひご覧ください。

また、ひまわりで販売しておりますので、ちよとしたおやつや土産等にご利用ください。



***** ロザリオの聖母会次世代育成支援行動計画 *****

全ての職員が働きやすい環境を整備することによって、その能力を十分に発揮できるようにするとともに、子育て中の職員が、仕事と子育ての両立を図ることができるよう、次のように行動計画を策定する。

1 計画期間 平成23年4月1日から平成27年3月31日の4年間
第3期（平成23、24、25、26年度）

2 内 容

目標1 【有給休暇の取得率】
①第1期に引き続き、年次有給休暇の取得率を50%以上にする。
②取得日数の少ない部署の把握及び取得できない原因を検討する。
③取得日数の少ない部署の職場管理者に対して指導、並びに取得できない状況を改善し、取得しやすい環境に整える。

目標2 【妊産婦に対するの処遇配慮】
①妊産婦に対して、妊娠判明時から産後1年間は夜勤の免除をする。
②妊娠判明時から産後1年間は就業規則上の休日労働・時間外労働をさせない。
③上記2項については、本人の希望する場合のみとする。

目標3 【子育て中の職員に対するの処遇配慮】
①未就学児の育児を理由に常勤からパートタイマーへ勤務体系の変更を希望する職員に対して、いつでも常勤に戻れるという条件での変更を認める。

目標4 【子の看護休暇制度を上回る処遇改善】
①子の看護休暇を取得しやすくするため、年5日の休暇の内3日を特別有給休暇扱いとする。

3 対 策

- ・法人の月報（職員向け広報紙）や法人内 LAN を活用して周知・啓発を実施します。また取得結果を職員に公開します。
- ・管理者は、有給休暇の取得状況を把握し、取得しやすい環境づくりに努めます。管理者に対する研修を行います。
- ・管理者は、処遇配慮の対象となる職員の把握に努め、この行動計画についての説明と希望の有無を話し合い、希望に添う業務上の配慮を実施します。

❁ ❁ 『春』をひと足先に満喫 ❁ ❁

銚子商業高等学校吹奏楽部によるスプリングコンサート♪ 【H26.3.28】



春の訪れが感じられるようになった3月28日、千葉県立銚子商業高等学校吹奏楽部による「スプリングコンサート」が開催されました。年に一度行われているこの演奏会を、皆さんとても心待ちにしています。

今年の演奏は、昭和の名曲や手遊び歌メドレー、そして美声を響かせた演歌メドレーなど、聴きに来た方すべてが、楽しむことができる構成となっていました。

皆の笑顔の花が満開となり、とても幸せな時間を過ごすことができました。

顧問の先生をはじめ、吹奏楽部の皆さんには、心より感謝とお礼を申し上げます。

みんなの家 小澤美代子

寄付者御芳名

（平成25年12月26日
～平成26年3月28日）

(株)国際エアールジー 代表取締役社長 大山吉男 様

(株)ドーシス 様

山下知子 様

櫻井ふく 様

土屋和夫 様

ヒゲタ醤油(株) 様

笠島 努 様

あざみ会長 鈴木たえ 様

鈴木洋志 様

バラエティギフト みすか 様

高橋 とく子 様

社会福祉法人 佐倉市社会福祉協議会 様

V・Gマーガレット 末永ヨシ子 様

レディンブトリスチン修道院 様

カトリック西千葉教会 様

中曾根 保子 様

飯島 英明 様

岡 信夫 様

小宮 和彦 様

畠山 アイ子 様

ウエスレアン・ホーリネス教団 旭キリスト教会 様

田 辺 弘子 様

高 木 春江 様

田 辺 弘子 様

平 野 鐵三郎 様

東洋英和女学院 様

聖心女学院 中高部 宗教委員会 様

吉 川 敦 様

高 野 丈夫 様

小 嶋 昭三 様

野 口 厚司 様

木 村 潔 様

Photo Gallery



上手く狙いを
定めて。。。



ポツチャ楽しんでます。

★聖マリア園★

★聖家族作業所★

餃子イオンに行ってきました!!



スポーツ班で、すたみな太郎に行ってきました!



ちんちん寿司、おしく
いただけてます!

★聖家族園★



みんなで仲良く、ソリすべり～

〔雑草班〕



ほら！さかながいるよ～

〔工作班〕



〔クリーン班〕

3月7日にクリーン班レク外出に行つて来ました。今年は何んと、東京湾ランチクルージング！！豪華客船に乗り込み、スカイツリーやレインボブリッジを見ながら、ランチをしました。みんなで優雅な時間と、至福の一時を共有することができました。来年度もクリーン班メンバー全員で、たくさん笑い、悩み、そして充実した時間を過ごしていきたいと思ひます。ありがとうございました。



東京ドイツ村に到着！！

〔農耕班〕



お花きれいだったよ～

★佐原聖家族園★

勝浦のひなまつりに行ってきました♡



in 鴨川シーワールド



お魚に癒されました！！

★デイサービスセンター・ローザ★

旭昇塾のみなさんと
太巻き ももができました



山菜花です

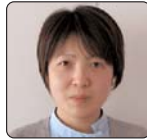
太巻き寿司完成 どこを切っても もも！！

聖マリア園



支援員

江森 達八
ネットブラウジングが趣味の江森さん。今後の活躍に期待します。よろしくお願ひします。



介護員

高橋 あゆみ
4月から常勤になりました。明るく元気な笑顔で、やわらかな空気を病棟へ運んで下さいます。



看護師

三谷 久美子
経験豊富で、向上心豊かなベテラン看護師。穏やかな口調で、「なごみ」の時間を作ってくれます。



作業療法士

荒木 里美
地元、旭出身。初めての精神科も穏やかな対応でとり組んでいきます。早く職場に慣れ、これからの活躍に期待しています。



精神保健福祉士

中山 麻衣子
南国沖縄出身。外来、訪問看護、デイケアを担当。ハードな業務も明るく笑顔で応じてくれています。

新任者紹介

海匠ネットワーク



コーディネーター

伊勢 康江
いつも元気で明るいパワフルな方です。みんなのムードメーカーになること間違いないです！



支援員

青谷 亮介
元高校球児の熱血漢。でも音楽鑑賞も大好きな好青年。佐原期待のルーキーです。今後の活躍に期待します。



支援員

鈴木 久美子
4月より常勤になりました。おっとりした性格ですが、現場では常に周りの事を考え行動する、頼もしい存在です。



支援員

新井 早苗
優しい笑顔で周囲を明るくしてくれる新井さん。ジョブコーチの業務を中心に、活躍されることを期待します。



支援員

柳 太揮
非常勤の一年を経て、今年度より常勤になりました。誠実な人柄は利用者からの信頼も厚く、周りに安心感を与えています。

佐原聖家族園

聖家族作業所

みんなの家

聖家族園

聖母療育園



理学療法士

井坂 三男
今年3月31日まで茨城県立の施設で働いていました。今回、皆様と一緒にできる事を光栄に思っております。



看護師

宮内 美栄子
14年の経験がありますが、精神科勤務は初めてで分からない事ばかりなので、よろしくお願ひします。



看護師

小山 きよ子
子供が仕上がったので、心機一転未知の分野に挑みたいと思います。



臨床心理士

児玉 成未
「チームワーク」を大切に、これから皆さんと一緒に頑張ります。どうぞよろしくお願ひ致します。



臨床心理士

薄井 櫻
初心を忘れずに、自ら学びを深め、自分を向上させていきたいです。どうぞよろしくお願ひ致します。

今年度の入職員



聖母療育園



支援員

四月から聖母療育園に配属された小林です。初めは失敗が多いと思いますが、よろしくお願ひします。

小林 有紀



支援員

こんにちは。これからたくさん学び、笑顔で頑張っていきたいと思ひます。よろしくお願ひします。

岩井 美樹



支援員

石井彩香です。利用者と共に笑顔で毎日過ごせるような支援ができるよう努めたいと思ひます。

石井 彩香



看護師

新しい分野へ挑戦となります。色々不安な事もありますが、よろしくお願ひします。

宇野澤 寿子



理学療法士

利用者様、スタッフの皆様のお力添えができるよう、一生懸命頑張りますので、よろしくお願ひします。

渡邊 優太郎

聖マリア園



支援員

このたび聖マリア園に配属になりました太田美桜です。自分のいい所を活かしてこれから頑張ります。

太田 美桜



支援員

明るく元気に頑張ります。みなさん、よろしくお願ひいたします。

岩井 琴音



支援員

福祉の道を選んで8年が経ち、やっと夢が叶いました。成長していく自分がすごく楽しみです。

南 美優



支援員

これから聖マリア園で利用者様に信頼され質の高いサービスのできるように頑張ります。

立花 祥吾

聖母通園センター



支援員

聖母通園センターに配属されました。笑顔で何事にも一生懸命頑張りますのでよろしくお願ひします。

山崎 理絵

聖家族作業所



支援員

大学では社会福祉を学びました。4年間の学びを活かして頑張りたいと思ひます。

田中 みのり



支援員

4月から聖家族園に配属になりました。不安な事ばかりですが、明るく元気に頑張りたいと思ひます。

林 佑樹



支援員

4月から聖家族園で働かせて頂きます。常に持ち前の笑顔で失敗を恐れずに頑張りたいと思ひます。

丸山 彩華

聖家族園



支援員

学生時代はバレーボールに励んでいました。思いを汲み取る熱意と思ひやる優しさの両方を期待しています。

河合 眞緒

友の家



ソーシャルワーカー

縁あって再びロザリオの聖母会で勤務させて頂く事となりました。初心に立ち返って頑張ります。

松島 由紀江



支援員

私は、いつも笑顔で人と関わる事を心がけています。利用者が笑顔でいれるように一杯頑張ります。

篠崎 優子



支援員

私の取り柄は笑顔です。この取り柄を活かして、誰もが過ごしやすい環境を作りたいです。

林 彩



支援員

相手の立場に立って物事を考え、持ち前の明るさで、周りの人達の笑顔の源になれるように頑張ります。

桐谷 知里

佐原聖家族園



支援員

私は旭市出身で明るい性格です。趣味は音楽鑑賞と野球観戦です。皆さんよろしくお願ひ致します。

實川 紀子

《職員募集のお知らせ》

ロザリオの聖母会では、「光のあたりにくい人々とともに歩む」という経営理念の下、多様な福祉サービスを総合的に提供できるよう、複合施設を経営するとともに、地域生活支援のため訪問、相談サービス事業等も実施し、利用者の豊かな地域生活を支援するよう努めています。職員の福利厚生、研修、育児介護休業制度等働きやすい環境づくりにも取り組んでいます。

□平成27年4月新卒支援員募集

職場説明会開催 午後1時～(午後12時30分受付開始)

期日 平成26年6月7日(土)

法人概要説明、施設見学、希望者は面接可
(詳しくはHPをご覧ください)

職種	採用数	事業所	資格
支援員	10名	障害者支援施設	短大専門卒以上 普通運転免許

□既卒3年以内の正職員も上記と同条件で随時募集中

□障害児者医療に携わる看護師も随時募集中!

◆応募 随時面接を行っていますので、本部総務課までご連絡ください。

0479-60-0600 (担当/採用係)

行事予定

- 26. 4. 1 平成26年度辞令交付式
- 2 経営会議、対策本部会議、総合安全対策委員会
- 3 決算事務研修会
- 6 法人春の交通安全週間
- 9 経営会議
- 11 クリーンデー
- 16 法人運営会議、経営会議、地域生活支援会議
- 17 職員等健康診断
- 28. 30 職員等健康診断
- 5. 7 経営会議、対策本部会議、総合安全対策委員会
- 9 クリーンデー
- 14 経営会議
- 15 通所事業所連絡会
- 21 法人運営会議、経営会議、地域生活支援会議
- 28 理事会、評議員会
- 6. 4 経営会議、対策本部会議、総合安全対策委員会
- 7 就職説明会、安全運転講習会
- 11 経営会議
- 13 クリーンデー
- 18 法人運営会議、経営会議、地域生活支援会議
- 21 後援会役員会、ロザリオ福祉まつり実行委員会
- 7. 2 経営会議、対策本部会議、総合安全対策委員会
- 9 経営会議、地元説明会
- 16 法人運営会議、経営会議、地域生活支援会議
- 17 通所事業所連絡会
- 23 理事会

ボランティア募集のお知らせ

ロザリオの聖母会では、施設や利用者のために常時ボランティアのご協力を
お願いしています。

お願いのできる方は是非、ご連絡く
ださい。ご協力をお願いします。

お問い合わせ

TEL 0479(60)0600
(担当 仲條)

本誌のバックナンバーを
ロザリオウェブサイトに
(<http://www.rosario.jp>)
に掲載しています。

- 医療 療養所
- 海上療養所
- 就労継続支援B型事業所
- ワークセンター
- 医療型障害児入所施設・療養介護事業所
- 聖母療育園
- 生活介護・児童発達支援・放課後等デイサービス(重点)
- 児童発達支援・放課後等デイサービス事業所
- ふたば保育園
- 旭市こども発達センター
- 療育相談支援センター
- 障害者支援施設
- 障害者支援施設
- 障害者支援施設
- 障がい者の就労促進事業所
- 生活介護事業所
- 聖家族作業所
- 共同生活援助事業所
- 高年齢者支援事業
- ロザリオ高齢者支援センター
- ロザリオ訪問介護事業所
- 通所介護・介護予防通所事業所
- デイサービスセンター・ローザ
- 障害者支援施設
- 佐原聖家族園
- 生活介護・放課後等デイサービス
- 共同生活援助事業所
- 聖ヨセフツボいの家
- 友ナザレの家かとり
- 地域生活支援センター
- 中核地域生活支援センター
- 海匝ネットワーク
- 障害者就業・生活支援センター
- 東総就業センター
- 香取市相談支援センター
- 障害者就業・生活支援センター
- 香取就業センター

